

世界を知る、日常を変える

29

所 属	静岡県立浜松大平台高等学校（定時制）	実践者	石井 亜矢子
対 象	高校2年生（14名）	実践日	2023年9月
実践教科	現代の国語	時間数	7時間
ねらい	・プラスチックごみから連鎖的に生じる環境問題について知る ・日常の行動が環境問題を解決する糸口になることに気付く ・新しい価値観を元に、今後環境問題とどのように付き合っていくのか行動目標を立てる		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1	<u>プラスチックごみが及ぼす影響について知る</u> ・教科書の教材を形式段落ごとに担当者を決め、それぞれの段落を個人で要約する ・個人で要約したものを全体で共有する <u>レジ袋のメリット・デメリットを考える</u> ・個人でレジ袋に関するメリットとデメリットを付箋に書き出す【ブレインストーミング】 ・挙がったアイデアを全体でグルーピングする【KJ法】	教科書 ワークシート パソコン 付箋 模造紙 ペン
	2	<u>プラスチックごみについて多方面からアプローチする</u> ・他教科の教員から、プラスチックごみにまつわる情報を提供してもらう（地歴公民科）各国のプラスチックごみとの付き合い方 食べられる包装紙（インドネシア）、草のストロー（ベトナム）、ごみ拾いツアー（オランダ） （理科）ナノプラスチックから見る生物への影響 プラスチックではない物は少ない、ナノプラスチックが胎児に影響を及ぼす、プラスチックの使用を止めることは可能なのか	ワークシート ビデオ パワーポイント 他教科の教員
	3	<u>情報の整理をする</u> ・どの情報が自分にとって最も有益だったのかまとめる ・自分が得た情報を他者に伝えることでどのような影響を与えることができるのか、派生図を書く【派生図】 ・派生図を回覧し、参考になるアイデアに○を付ける <u>行動目標を考える</u> ・学習したことを参考に、今日から自分はプラスチック（または環境問題）とどのように付き合っていくのか、行動宣言を作り、作文を書く	ワークシート ワークシート
成 果	生徒の身近にあるプラスチック製品をきっかけに環境問題について考えることができた。段階的に思考を整理するということも生徒に経験してもらうことができた。〇〇について初めて知ったという声も毎時間挙がっていたため、対象生徒によっては土台となる知識を提供することにも重点を置く必要がある。		
課 題	立てた目標を元に、具体的なアクションを取れるようにもっていければよかった。今回学んだことが実生活にどの程度影響を与えたのかを把握することができなかった。今回は環境に特化した教材だったが、異なる単元でも生徒自身が自分事として捉えられるよう、この経験を活かしたい。		
備 考	使用教材：中嶋亮太「どこもかしこもプラスチック！」（『新編現代の国語』大修館書店）		